



2016年9月期

決算補足説明資料

2016年11月10日 株式会社フィックスターズ（東証マザーズ3687）



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があります。あることをご承知おきください。

1. 2016年9月期 通期決算説明
2. 2017年9月期 業績予想
3. 今後の成長戦略

1. 2016年9月期 通期決算説明

2. 2017年9月期 業績予想

3. 今後の成長戦略



業績

- 売上、利益ともに**通期業績予想を上回り、過去最高を更新**

売上高： **4,063百万円**（前期比 **+13.4%**）

営業利益： **710百万円**（前期比 **+15.7%**）

- ソフトウェア・サービス、ハードウェア基盤両事業ともに安定成長

セグメント

ソフトウェア・サービス

- フラッシュメモリ関連サービスが引き続き成長をけん引
- 高速化サービスも車載関連を中心に強い引き合いが継続
- 金融やウェブを中心とした機械学習関連の案件を新規に獲得

ハードウェア基盤

- 画像処理プロセッサ搭載演算ボードが期初想定より上振れ
- 大容量高速ストレージ・サーバは、国内製造業を中心に積極的な営業活動を継続
- ソフトウェア・サービスとハードウェアの提供を組み合わせた、トータルソリューション案件の新規獲得に注力



2016年9月期 通期 決算概要：損益計算書

売上、利益ともに通期業績予想を上回り、過去最高を更新
 ソフトウェア・サービス、ハードウェア基盤両事業ともに安定成長

(単位：百万円)

項目	前期 (2015年9月期)	当期 (2016年9月期)	前期比 増減額	前期比 増減率	通期業績予想
売上高	3,582	4,063	+481	+13.4%	4,031
営業利益	614	710	+96	+15.7%	630
売上高 営業利益率	17.2%	17.5%	+0.3%	-	15.6%
経常利益	625	707	+82	+13.3%	625
売上高 経常利益率	17.4%	17.4%	+0.0%	-	15.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	447	516	+68	+15.4%	447



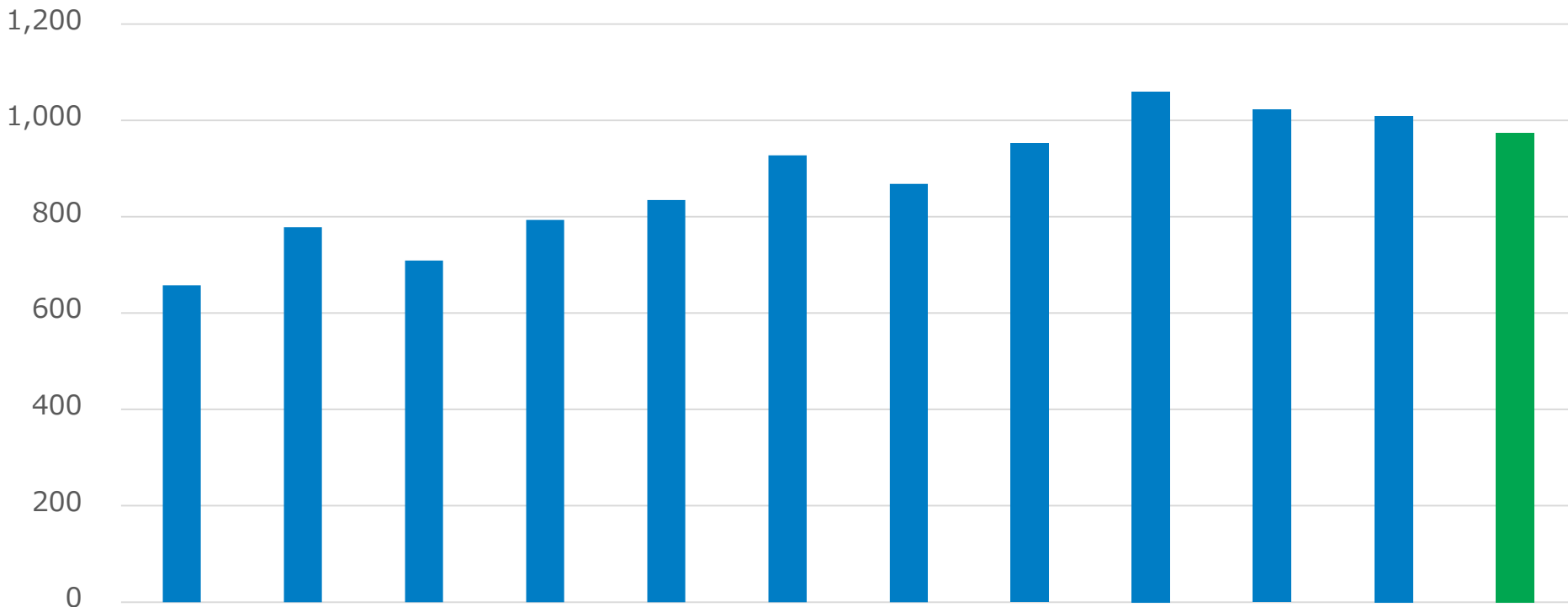
業績推移：売上高

累計実績： 4,063百万円（前期比 +13.4%）

ソフトウェア・サービス、ハードウェア基盤両事業とも安定成長

四半期売上高の推移

（単位：百万円）



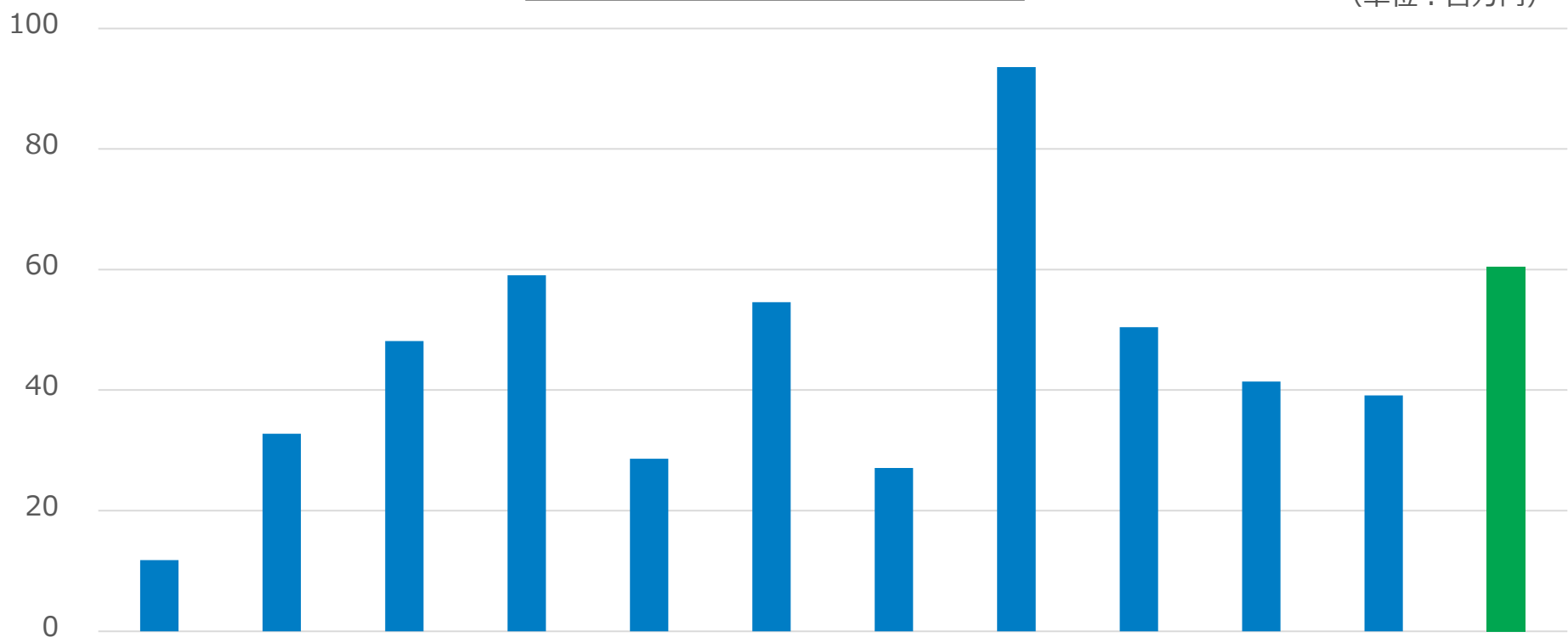
	2014/09				2015/09				2016/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	657	778	708	793	834	927	868	952	1,059	1,022	1,008	973

累計実績：191百万円（前期比 ▲6.0%）

大容量高速ストレージ・サーバ事業の新製品開発に積極投資

四半期研究開発費の推移

（単位：百万円）



	2014/09				2015/09				2016/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
研究開発費	11	32	48	59	28	54	27	93	50	41	39	60



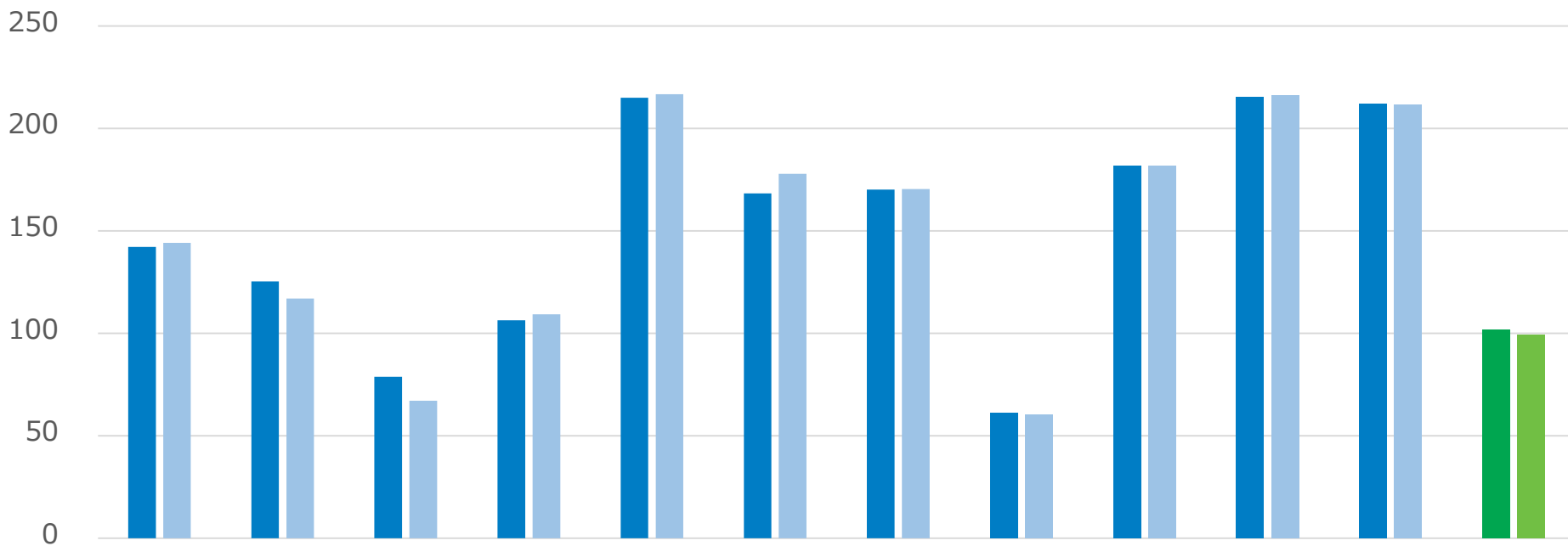
業績推移：営業利益・経常利益

営業利益累計：710百万円、経常利益累計：707百万円

新規事業への投資を継続しつつ、利益を確保

四半期利益の推移

(単位：百万円)



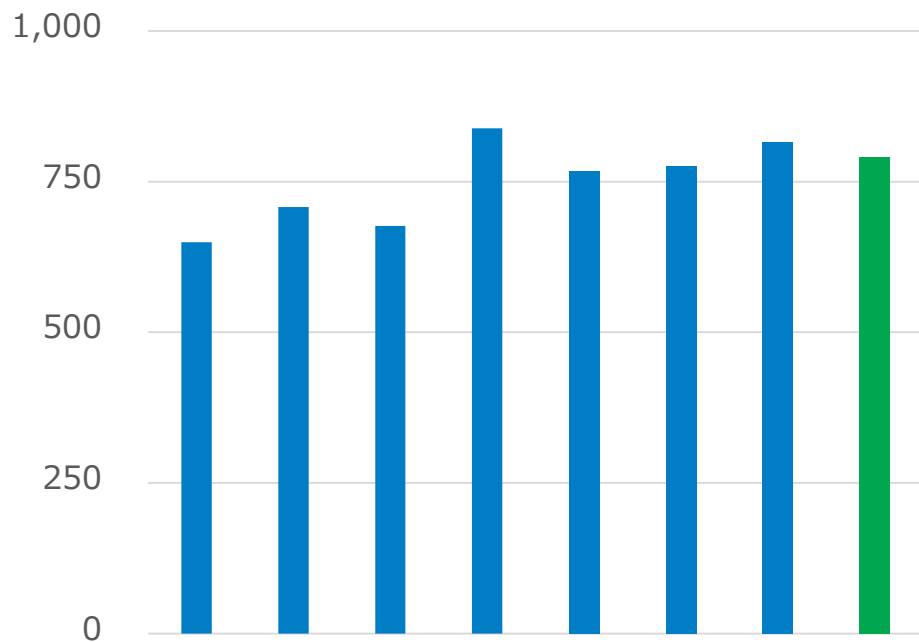
	2014/09				2015/09				2016/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	142	125	78	106	214	168	170	61	181	215	212	101
経常利益	144	116	67	109	216	177	170	60	181	215	211	99

業績推移：ソフトウェア・サービス事業

売上高累計：3,148百万円、 利益累計：709百万円
フラッシュメモリ関連サービスが引き続き成長をけん引

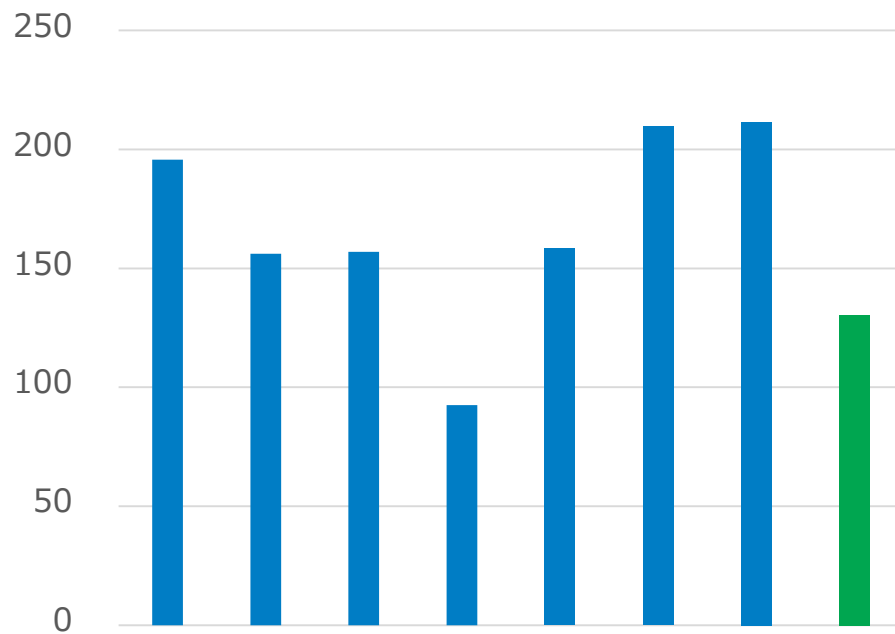
売上高の推移

(単位：百万円)



利益の推移

(単位：百万円)



	2015/09				2016/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	649	707	676	838	766	776	815	790

	2015/09				2016/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
利益	195	156	157	92	158	209	211	130



事業推移：ハードウェア基盤事業

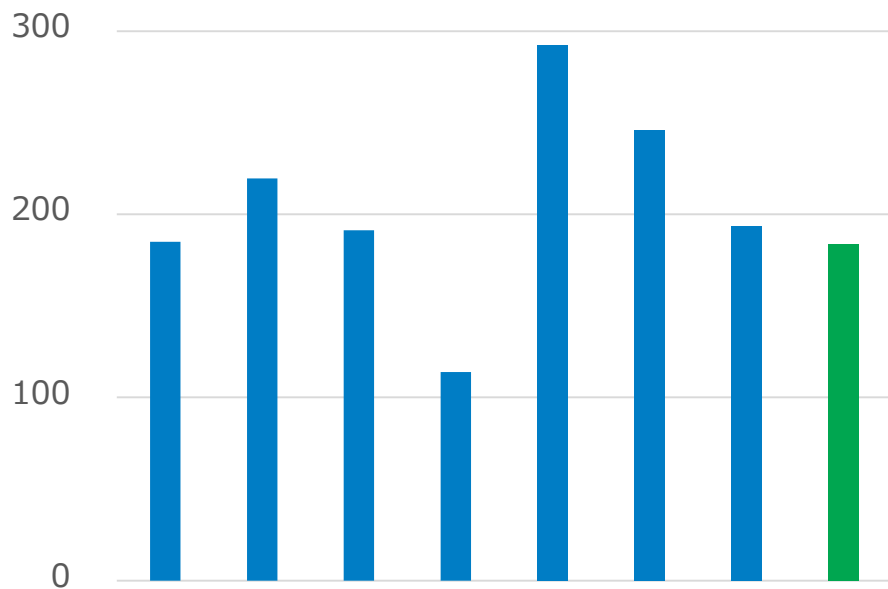
売上高累計：915百万円、 利益累計：0百万円

原材料の市況に合わせ、大容量高速ストレージ・サーバの評価損を計上

大容量高速ストレージ・サーバへの積極投資を収益の範囲内で継続

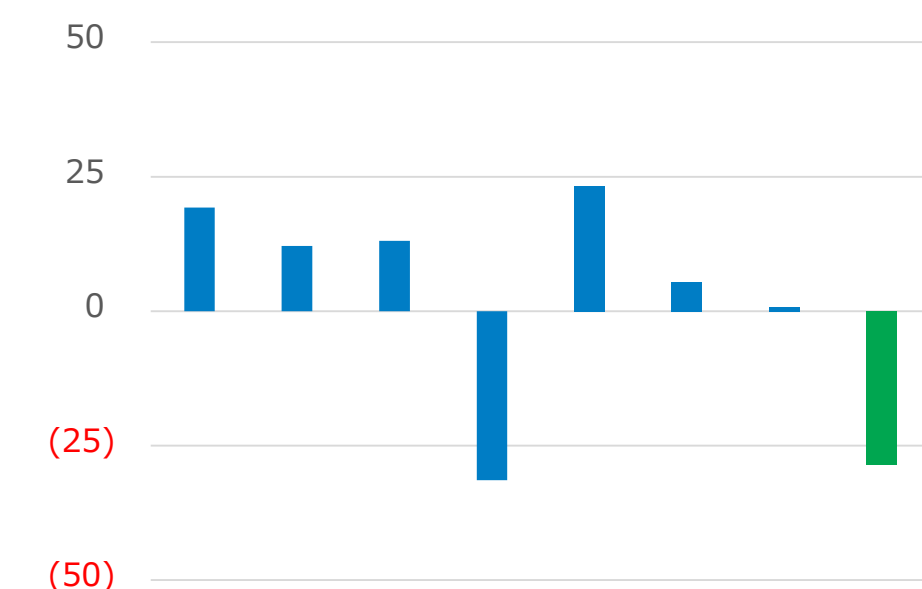
売上高の推移

(単位：百万円)



利益の推移

(単位：百万円)



	2015/09				2016/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	185	219	191	113	292	246	193	183

	2015/09				2016/09			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
利益	19	12	13	▲31	23	5	0	▲28

1. 2016年9月期 通期決算説明

2. 2017年9月期 業績予想

3. 今後の成長戦略

業績

- 売上、利益ともに**過去最高**の予想
売上高： **4,400百万円**（前期比 **+8.3%**）
営業利益： **800百万円**（前期比 **+12.6%**）
- 既存事業による安定成長を実現しつつ、新規事業への積極投資を継続

セグメント

ソフトウェア・サービス

- 車載を中心としたマルチコア高速化サービス、半導体メーカー向けフラッシュメモリ関連サービスともに順調に推移
- 機械学習事業を中心に新しい分野、新しいビジネスモデルの構築を狙う

ハードウェア基盤

- 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードが堅調
- 大容量高速ストレージ・サーバは、国内製造業を中心としたIoT向け案件等に注力
- 製造業向けトータルソリューション案件が進行



2017年9月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2017年9月期 業績予想	4,400	800	785	529
2016年9月期 実績	4,063	710	707	516
増減率	+8.3%	+12.6%	+11.0%	+2.7%

配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2017年9月期 予想	23円	78円95銭	29.1%
2016年9月期 実績	23円	77円33銭	29.9%
2015年9月期 実績	20円	68円32銭	29.6%

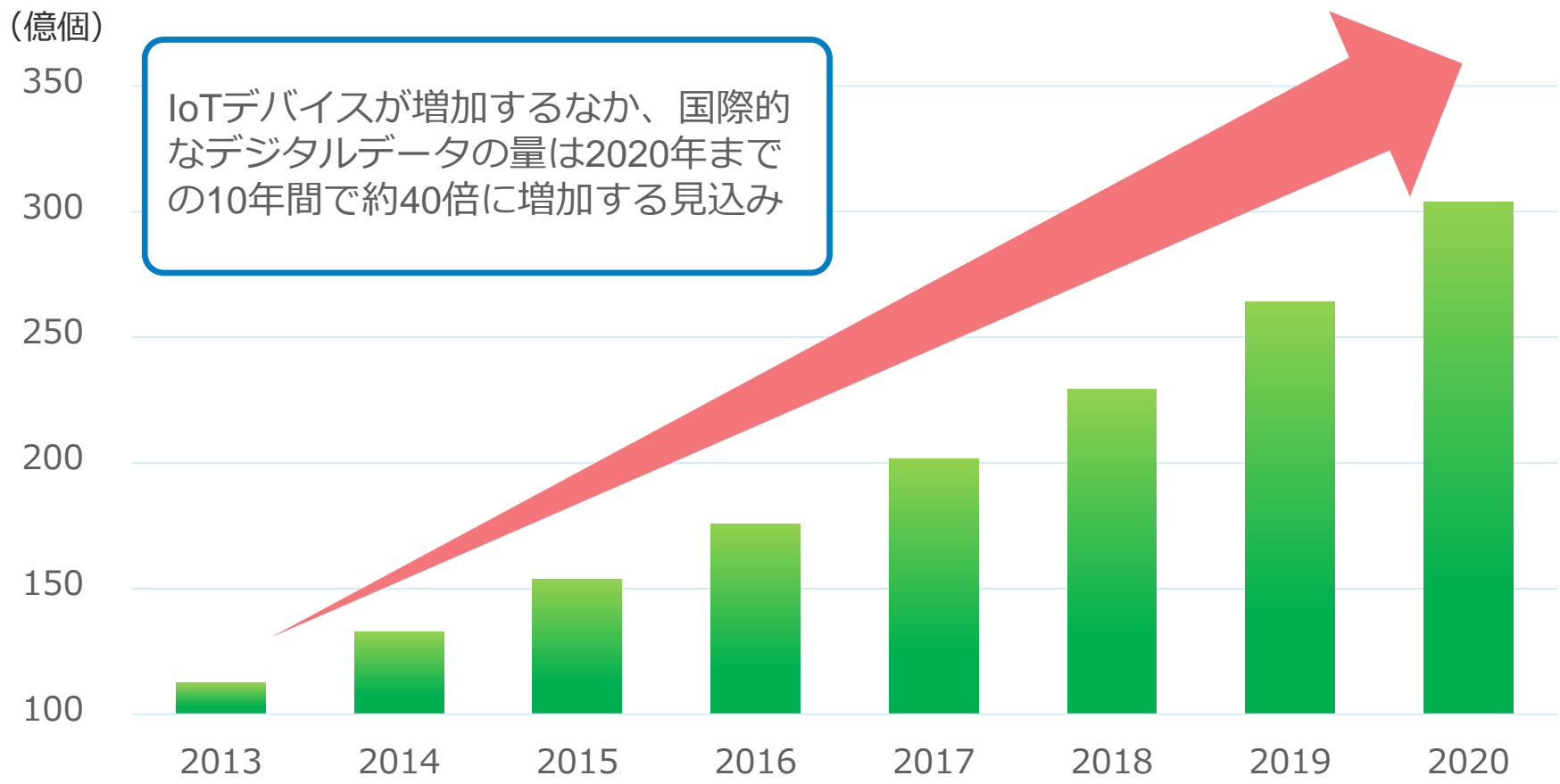
1. 2016年9月期 通期決算説明

2. 2017年9月期 業績予想

3. 今後の成長戦略

外部環境：データ量の爆発的な増加

「IoT」 “モノのインターネット”に代表される新しい時代の流れのなか、世界中のデータ量が爆発的に増加



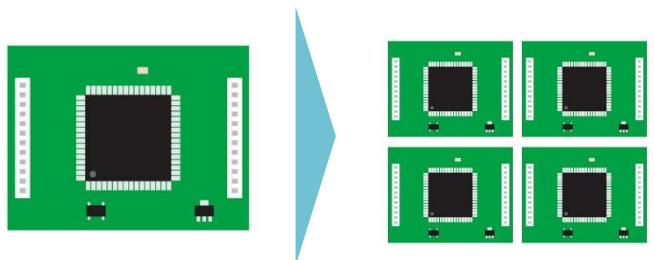
世界のIoTデバイス数の推移及び予測

(出典) 総務省「情報通信白書」

外部環境：コンピュータ技術のパラダイムシフト

データが爆発的に増加するなか、コンピュータの進化はより複雑化
ソフトウェアによりハードウェアを最大活用する技術が重要に

マルチコア化



ハード
ウェア

消費電力等を抑えるため、クロック数向上からマルチコア化へ進化の形が変化

メモリ高速化



ハード
ウェア

HDDからフラッシュストレージに移行し、ネットワークに求められる高速処理を実現

ソフト
ウェア

複数コアでプログラムが実行されるため、コア間の同期や最適化制御が必要

ソフト
ウェア

ボトルネックを回避し、システム全体として高速化が図られるようソフトウェアで制御

大量データの高速処理が求められる様々な産業分野で、マルチコアの高速化を中心とした、顧客製品に最適な高速化ソリューションを提供

映像



4K/8K
ハイスピード
カメラ

医療



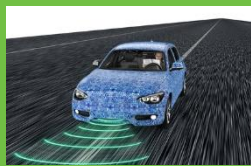
ゲノム解析
高画質MRI/CT

モバイル



スマートフォン
タブレット

車載機器



ADAS
(先進運転
支援システム)

産業機器



製造検査装置
Industry 4.0

ビッグデータ



IoTデータ収集
機械学習

金融



デリバティブ
リスク計算

顧客製品の研究段階から量産・販売まで、ソフトウェア・サービスとハードウェア両方によるトータルソリューションを提供

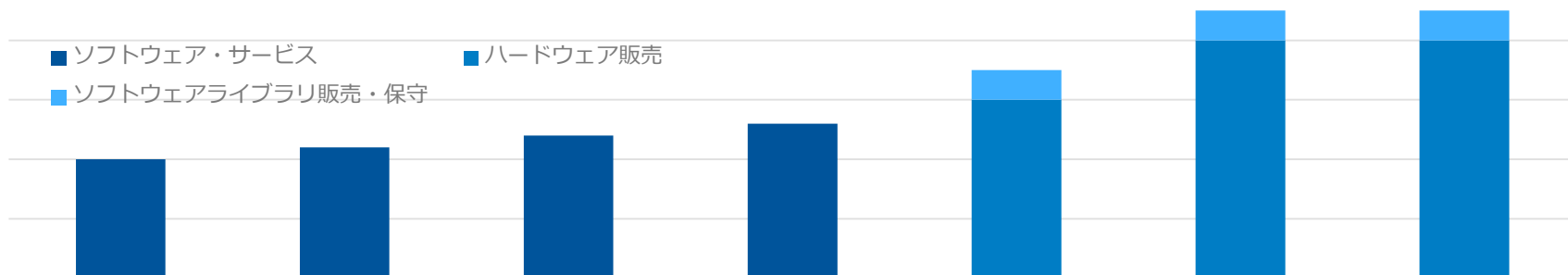
顧客の製品フェーズ

研究

製品開発

製品量産・販売

<当社の収益イメージ>



フィックスターズの提供ソリューション

- ・ボトルネックの特定やハードウェア選定等、コンサルティング
- ・アルゴリズム等の共同開発
- ・ソフトウェア最適化
- ・実製品への組込み支援

- ・コンピュータ部材の提供
- ・ソフトウェアライブラリの販売、保守



当社について：コアコンピタンス

高度な技術力を備えたエンジニアたちが、時代の先端を行く顧客企業に対し、期待を大幅に上回る高速化を実現

人材

- 他に類を見ない100名規模のスーパーエンジニア集団
- CPUからFPGAまで、車載から金融まで、多様な需要に応えられる多彩な人材

技術

- CPU等で生じるボトルネックを回避して圧倒的な高速化を実現する技術
- 低スペックのチップをフル活用し性能を最大限に引き出す技術

顧客基盤

- グローバル市場で戦う国内大企業と直接取引を行い、最先端技術課題へのアクセスを確保
- 高いリピートオーダー率により低営業コストを実現

既存事業により安定的な成長を実現する一方で、IoTやAIに代表される激変する外部環境を成長の機会と捉え、新規事業への積極的な投資を継続



当社技術基盤 (M3プラットフォーム)

マルチコア/マルチノード
最適化技術

メモリ I/O
高速化技術

マルチアーキテクチャ
サポート

新規事業：大容量高速ストレージ・サーバ

IoT時代の幕開けに向けた、大容量ストレージを備えたLinuxコンピュータ
国内製造業を中心としたIoT案件に注力

超小型・超高密度・超低消費電力

- ・2.5インチ、最小9.5mm厚のフォームファクタで、最大13TBの圧倒的な大容量と最大6.5Wの低消費電力を実現



標準的なLinuxコンピュータ

- ・標準的なLinuxが搭載されており、様々なLinuxアプリケーションが実行可能

低遅延・高速処理向け開発環境

- ・FPGAを利用した高速処理向けライブラリの提供
- ・高性能かつ低消費電力なFPGAを有効活用したアプリケーションの開発が容易に

用途に合わせたカスタム対応

- ・オプションとして各種モジュールを提供
- ・製品化・量産化を見据えた、ハードウェア拡張を含むカスタマイズでの提供も

新規事業：機械学習事業

当社の大量データの高速処理技術を活かし、各分野のパートナー企業との協業を模索。新しい産業分野や、新しい提供モデルの案件が進行中





ソフトウェア技術を通じて
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、
フィックスターズの技術を活かして
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました